

あしがらこどう 足柄古道コース

古代の人々が歩いた道を通り、金太郎のふるさと足柄峠へ



歩いて、未病を改善！
神奈川県・県西地域ウォーキング 南足柄市 No.19

「#県西ウォーキング」でSNSに
写真や感想をアップしよう♪



アクセス

Sスタート 伊豆箱根鉄道大雄山線「大雄山駅」

Gゴール 箱根登山バス 〇「地藏堂」

伊豆箱根鉄道大雄山線「大雄山駅」(〇 関本) まで約25分

※バスの本数が少ないため、事前にご確認ください。

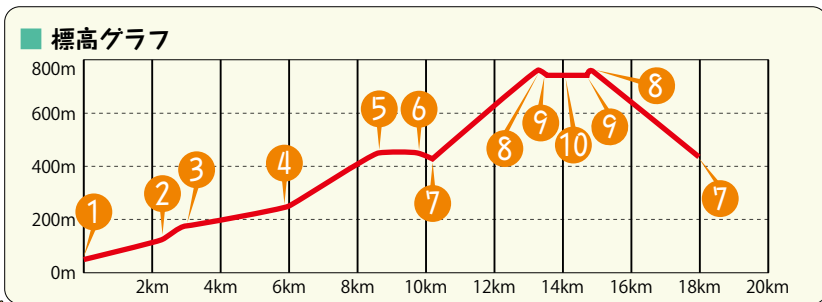
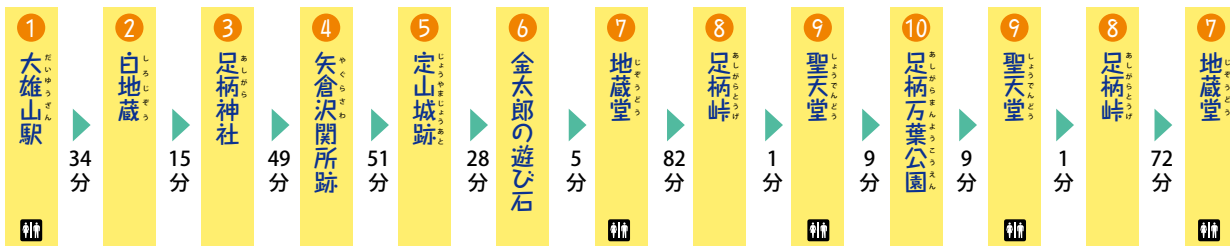
歩行距離	歩行時間	消費カロリー
17.8km	5時間56分	1,513kcal
高低差	歩数	
706.0m	23,490歩	

コースの魅力

【花木】金太郎大もみじ(11月頃) **【景観】**足柄平野の眺望、足柄古道の石畳

【歴史】足柄神社、矢倉沢関所跡、定山城跡、聖天堂、地藏堂 **【文化】**白地藏

【★選】足柄峠(かながわの景勝50選)、矢倉沢往還(かながわの古道50選)



コースの概要
茶畑やみかん畑の間を抜け、万葉集歌碑がある「足柄万葉公園」を経て、「足柄峠」へと登るコース。「矢倉沢」では関所跡で江戸の歴史を感じ、「夕日の滝」では産湯をつかったといわれる金太郎伝説に思いを馳せながらめぐりたいコースです。歴史ある矢倉沢往還の一部を通るこのコースは足柄古道コースと呼ばれ、多くの人に親しまれています。

紅葉の季節に立ち寄りしたい



金太郎大もみじ

地藏堂のすぐ近く、足柄峠への分岐となる県道沿いに立つ、大きなもみじの木です。高さは約20m、太さは1.3mもあり、「金太郎大もみじ」と

呼ばれています。毎年11月の見頃には多くの方が訪れ、様々な角度からもみじを眺める姿が見られます。少しずつ色どりが変わるもみじをお楽しみに。

万葉集と足柄には縁が...



足柄万葉公園

箱根や足柄平野、相模湾が見渡せる眺望のよい公園。市民や観光客が自然の中で、文化的教養の向上を図ることを目的に開設されました。足柄地方を詠んだ歌が万葉集に多いことでもわかるように、風光明媚な土地であり、特に、足柄城址から眺める富士山は手に取るように大きく、感動します。

※歩行距離と歩行時間は、南足柄市のデータを参照。 ※高低差、標高グラフは、国土地理院の地図データを参照。消費カロリー、歩数は、「成人男性：身長170cm、体重68kg」をモデルに計算。(元となる標高データの精度や計算方法による誤差が含まれています)。 ※各数値は、あくまで目安であり、年齢や体格、歩くスピードなどにより大きく変わることがあります。

※掲載情報は、令和8年2月現在のものです。



足柄古道の石畳
奈良時代、官道とされていた足柄古道。奈良・平安時代には、関東に入るための道でしたが、江戸時代になると、東海道の裏街道として利用されていました。

2 白地蔵
安産と授乳に霊験があると伝えられており、お礼参り時にうどん粉を塗りつける習慣があります。

6 金太郎の遊び石
夕日の滝の下流にあるこの石で、金太郎が動物たちと仲良く遊んだと伝えられています。

ジオサイトって？
箱根火山を中心とした地域の自然や歴史、文化、食などを大地とのつながりで楽しむ「箱根ジオパーク」の見どころです。

金太郎伝説
童謡や昔話で有名な「足柄山の金太郎」は、子供のころから金時山や足柄山を自分の庭のように遊びまわり、山の動物たちを遊び相手に、たくましい青年に成長しました。後に武将源頼光の家来となり坂田金時と改名。四天王の一人として大活躍しました。

- ルールとアドバイス**
- 1 ゴミは必ず持ち帰りましょう
 - 2 植物・鳥・動物・虫などの採取・捕獲は絶対にやめましょう
 - 3 自分に合った歩きやすい靴をはきましょう
 - 4 水分の補給をこまめにしましょう

足柄峠と足柄道(矢倉沢往還)と夕日の滝

足柄峠と足柄道(矢倉沢往還)

金時山の北側の足柄峠を通る足柄道は、古代より官道として利用され、古事記や万葉集にも足柄という地名は残されています。江戸時代に箱根峠を越える東海道が整備されると、その一部は「矢倉沢往還」として東海道の脇往還、大山や富士山への参詣道として利用されました。現在、市内のルート「足柄古道」として保存、紹介しています。



夕日の滝

箱根外輪山を水源とする内川が、夕日の滝断層で落下し滝となり、その断層が箱根火山堆積物の境界になっています。また、この一帯が金太郎生誕の地という伝説があり、近くには「金太郎の遊び石」と言われる石がありますが、これは金時山噴火時の噴出物と考えられています。市の指定文化財。